



今月のメイン

3 学期始業式

1月10日、全校生徒が講堂に揃い、3学期の始業式がおこなわれました。まず、吉田校長からは「西年の酉は果実が熟した状態を表す漢字。これにあやかって、今までの努力が実りを迎える年になってほしい。」という新年の挨拶がありました。この挨拶通り、器楽クラブのクラリネット・フルートのグループが、アンサンブルコンテストで銀賞を受賞したことも報告されました。これも日頃の努力が実を結んだということでしょう。社会情勢や世界の状況を見ると、必ずしも明るい兆しばかりではなく、大きな変化が予想されます。吉田校長は「どんな世の中にな



ろうと、自分はこれができるという自分資本と、他の人と繋がることで得られる人間関係資本を持つことが大切。これからの三輪田の生活でぜひ身につけていってほしい。」と話しました。この日は大学受験を控えた高校3年生にとっては受験前の最後の式典となります。ですから、3学期の始業式は受験に向けての壮行会にもなります。在校生全員が三本締めで、高3生に向かって大きな「元氣玉」を送りました。

1月の学校紹介イベント・入試日程など

予約が必要なイベント

ミニ学校説明会

1月17日(火) 10:00~

入学考査 Webで出願OK! 学園HPからGO!

2月1日2日(2科・4科・帰国生)、2月3日4科

1月10日より出願受付開始、

20日より受験票がプリントアウトできます

Miwada -ism

ミワダのきもち

第107号

三輪田学園入試広報委員会
2017年1月14日発行

トピックス

三輪田生の成人式

1月9日、この日各地で成人式がおこなわれましたが、三輪田学園の卒業生165名も成人となりました。三輪田生の成人を祝う会は、学園側がお膳立てした祝賀会ではなく、成人を迎える卒業生たち自身が企画運営し、先生方を招待しておこないます。この日は130名が参加し、会場となったアルカディア市ヶ谷の大宴会場は、それぞれ華やかに着飾った新成人達の賑やかな笑い声に包まれました。今年成人となったのは、第66回卒業生です。学年色は緑で、爽やかで元気の良い学年でした。吉田校長からは、「大人になるということは、礼儀を知り、自分自身に責任を持つということ。三輪田で培った人間関係資本を大切にしてほしい。」と祝辞がありました。



華やかな振袖姿の卒業生たち

特集

三輪田創立

130年に向けて

三輪田学園は今年の4月25日に創立130周年を迎えます。この日の式典に向けて、現在急ピッチで準備が進められています。

三輪田学園は明治20(1887)年、現在の千代田区神保町付近に開校された翠松学舎という私塾が始まりです。最初は男子部と女子部がありましたが、女子教育の重要性を感じた三輪田眞佐子は男子部を閉じ、女子部だけを残して女子教育に専念することに。明治35(1902)年には現在の校地に移転し、翌年には東京で最初の高等女学校として認可されています。第二次大戦末期、空襲で校舎が焼け落ちましたが、2代目校長三輪田元道らの尽力で校舎を再建、新制の三輪田学園中学校高等学校となりました。創立以来、誠実で才気溢れる女性を育て続けています。



大正時代の三輪田生



現在の三輪田生

『ミワダのいいとこ130』

創立130年に向けて、現在進行中のプロジェクトは2つ。1つは『ミワダのいいとこ130』プロジェクトです。生徒は自分にとって三輪田のいいところ、好きなところを応募用紙に記入して投書、それを校長がまとめて式典の際に発表する計画です。2学期終業式に募集を開始したこのプロジェクト、事前に用意した応募用紙130枚があつという間になくなるほど、多くの生徒が参加し、生徒の関心の高さがわかります。好きなところとしては、①温水プールや充実した図書館、2つの体育館、校舎やトイレがきれいななどの施設面 ②先生と生徒との距離が近い ③友だち同士仲が良く、いじめがない ④先輩が優しい ⑤完全燃焼できる行事がある などがあがっていました。

『ミワダ・ブランディングプロジェクト』

もう一つの企画は、次の130年を目指して、新しい三輪田のブランドデザインを考えようという企画です。新しい三輪田をイメージして、ロゴやキャラクターなどを、有志生徒と一緒にグラフィックデザイナーの石川明さんが形作っていくというプロジェクトです。石川明さんは、警視庁のピーボ君のデザインや、官庁・企業のロゴのデザインで有名なデザイナーです。プロのデザイナーさんと一緒に新しいものを創り上げていくという経験は、生徒にとっても貴重なものになるでしょう。どんなものができるか、今から楽しみですね。

2016年ミワダの入試問題にチャレンジ!

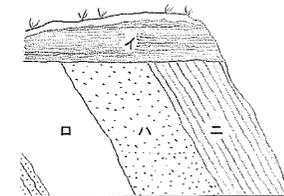
第3回理科の問題(部分)

右の図は、ある地域で見られた地層のスケッチです。

次の文は、地上で見られる地層について述べたものです。(a)(b)にあてはまることばをそれぞれ答えなさい。

ふつう地層は、海や湖の底に積もってできますが、長い年月の間に大きな力が加わって陸上に押し上げられます。このときの力のかかり方によって、図のように地層が傾いたり、上下が逆転したりすることもあるだけでなく、時には(a)などを引き起こし、大災害に繋がることもあります。大きな(a)が発生した後、地層には(b)ができることもあります。

図2



- イ: ソウの骨の化石を含む層
- ロ: 恐竜の足あとを含む層
- ハ: 火山灰の層
- ニ: サメの歯の化石を含む層

答え:(a):地震 (b)断層